

アツヴィJチューブ



デュオドーパ® 治療を受ける皆様へ

デュオドーパ® 患者さん用 ポケットガイド



abbvie

デュオドーパ®について	3
デュオドーパ®はどんなお薬ですか	3
デュオドーパ®のカセットには何が入っていますか	4
デュオドーパ®はどのように作用しますか	5
デュオドーパ®治療システム	6
このお薬の使い方	9
デュオドーパ®患者日誌	11
日中の治療	12
朝の手順	13
投与開始準備	13
朝の投与	16
ポンプの正しい携帯向き	17
携帯用バックの身に着け方	18
日中にオフになった場合の手順	19
夜の手順	20
投与を停止し電源を切ります	20
空腸チューブ内の洗浄	21
胃ろうチューブ内の洗浄	22
ポンプの保管方法	23
電池の交換	24
胃ろうのケア	26
胃ろうチューブの動きを確認します	26
胃ろう周囲の炎症	28
胃ろう周囲の感染	29
薬液カセットの保管方法	30
ポンプは防水ではありません	32
電池	33
検査や治療を受ける際の注意事項	34
旅行	35
旅行時の必要物品	36
ポンプアラーム	37
投与中に関する注意事項	48

このポケットガイドではデュオドーパ®治療について簡潔に説明しています。詳細情報については、ポンプの取扱説明書をお読みください。またこのガイドには、チューブを挿入した時や空腸チューブの長期使用による影響を最小限にするための重要な情報が含まれています。ご不明な点がございましたら、医師、薬剤師又は看護師に問い合わせてください。

デュオドーパ®について

デュオドーパ®はどんなお薬ですか

デュオドーパ®はパーキンソン病の治療に使用する薬です。

レボドパ含有製剤を含む既存の薬物療法で十分な効果が得られないパーキンソン病の症状の日内変動(wearing-off現象)の改善を目的として処方されます。

パーキンソン病には手足がふるえる、筋肉がこわばる、動きが遅くなる、バランスがとりづらくなるといった症状があります。

デュオドーパ[®]のカセットには 何が入っていますか

- レボドパ20mg/mL
- カルビドパ水和物5mg/mL
- カルメロースナトリウム
- 精製水

デュオドーパ®はどのように作用しますか

- レボドパは脳内でドパミンに変換されます。ドパミンは脳および脊髄に存在し、神経細胞間の情報伝達を助けます。ドパミン濃度が低いとパーキンソン病の症状が現れます。
- レボドパの投与によって脳内のドパミン濃度が上昇し、パーキンソン病の症状の改善が期待されます。
- レボドパとともにカルビドパを投与することで、レボドパの効果が高まり、レボドパの好ましくない作用を軽減させることが期待されます。

デュオドーパ®治療システム

デュオドーパ®治療システムは、ポンプ、空腸へ送るためのチューブ類およびカセットで構成され、**図1**のとおり接続されます。

- デュオドーパ®は100mLのプラスチックカセットに入ったゲル状のお薬です。
- このお薬を投与するためには、空腸と呼ばれる小腸の一部分に空腸チューブを留置することから、腹部に小さな穴(「胃ろう」と呼びます)をあける手術が必要です。
- カセットをポンプに接続します。ポンプ(カセット)は、胃ろう(PEG)チューブに接続されます。接続されたPEGチューブの中には空腸チューブが通っており、それは空腸まで挿入されています。
- デュオドーパ®のポンプからは、日中途切れることなく薬剤が注入されます。そのため、レボドパの血中濃度が一定に保たれます。
- 胃の手術については、医師や看護師と十分に話し合ってください。

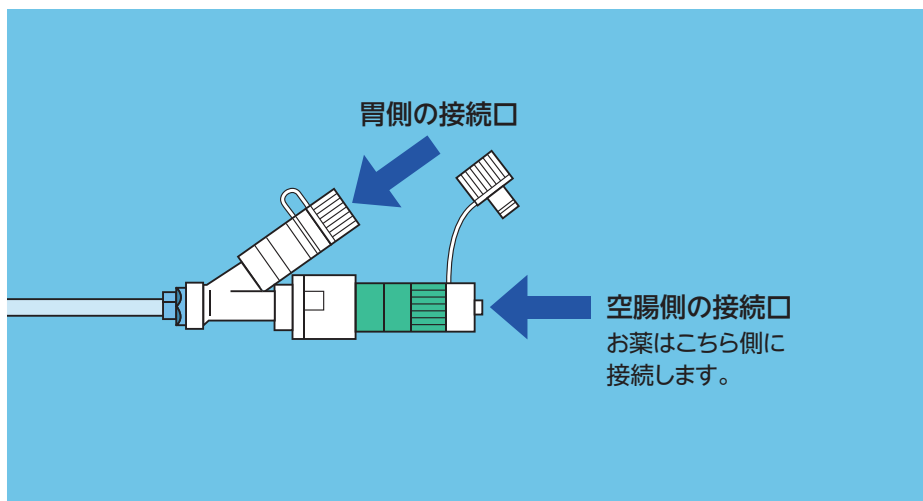
* 図はイメージイラストです。ご使用の機器とは細部の形状や色が異なる場合があります。



図1

- ① 胃ろう(PEG)チューブ
- ② 空腸チューブ
- ③ デュオドーバ®専用ポンプ
- ④ デュオドーバ®薬液入りカセット

カセットチューブと胃ろうチューブの接続部



注意

デュオドーパ®の投与及び投与終了時のチューブの洗浄や経腸栄養剤を投与する場合を除き、胃ろうチューブからの他の医薬品・食品などの投与は行わないでください。

このお薬の使い方

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の使用量は、次のとおりです。

	朝の投与	持続投与	追加投与 (1回あたり)
初回量	この薬を使用し始める前に飲んでいただいていた経口レボドパ含有製剤の使用量を目安に決定します。		
通常量	5~10mL	2~6mL/時間	0.5~2.0mL (1回1mLから) 開始します)
最大量	15mL	10mL/時間	—
	1日総投与量の上限は100mLです。		
回数	朝の投与として10~30分かけて投与し、起きている時間(最大16時間)持続的にポンプから投与します。		

●使い忘れた場合の対応

使い忘れに気付いたときから、朝の投与から開始してください。

●多く使用した時(過量使用時)の対応

異常な不随意運動(意思に反して体が動く、手がふるえるなど)、混乱、不眠、吐き気、嘔吐(おうと)、不整脈などの症状があらわれる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、速やかに投与を中止しポンプを外し、ただちに受診してください。

●その他

- ・使用中、薬の効き目が突然なくなったと感じたときは、チューブがしっかりと接続されているか、チューブが曲がったり詰まったりしていないか、ポンプが正常に動いているかを確認してください。それでも原因が分からない場合は本剤の使用を中止し、速やかに医療機関に相談してください。また、このような場合に備えて、レボドパ・カルビドパ水和物の経口剤を携行し、医師の指示に従って適宜服用するようにしてください。
- ・追加投与の頻度が1日5回を超える場合には、医師に相談してください。

デュオドーパ[®]患者日誌

- デュオドーパ[®]患者日誌に本剤の投与量や症状を記録してください。
- 医療機関への受診時に日誌を持参し、医師に提示してください。

日中の治療

患者さんが薬液入りカセットを使用するにあたって毎日行う手順を簡潔に説明します。

詳細な手順については、ポンプの取扱説明書をお読みください。

朝の手順

投与開始準備

1. 新しいカセットを外箱から取り出し、冷蔵庫から取り出します。

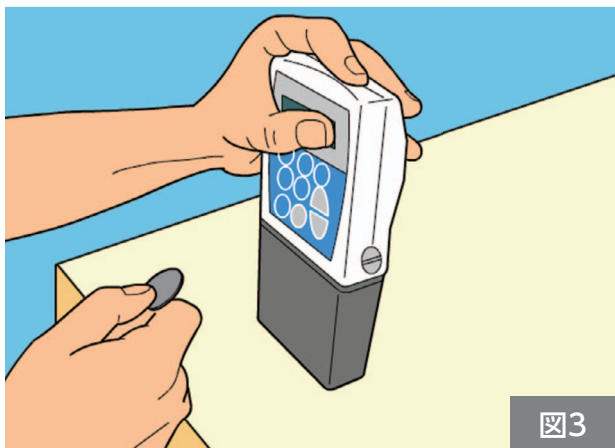
注意 カセットは冷蔵庫から取り出した後、20分安置してから使用します。

2. 先に、ポンプ携帯用バックを身に付けておきます。
3. ポンプの底の保護カバーを外し、カセットをポンプに取り付けます (図2)。

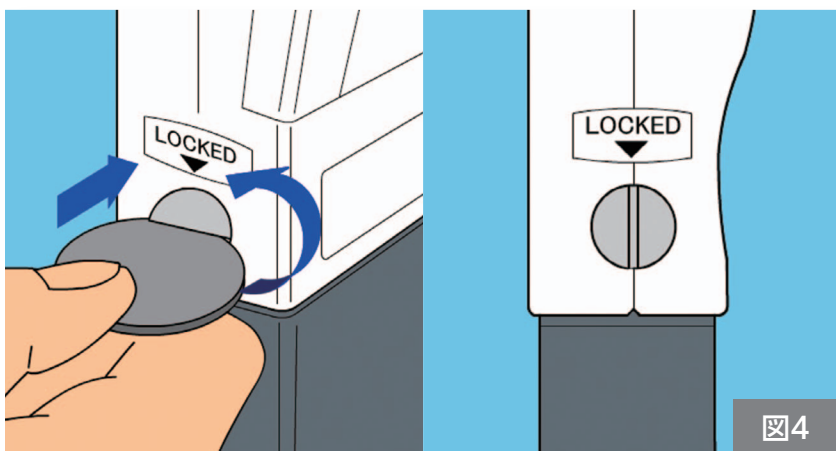


図2

4. 平らな所でカセットとポンプをしっかりと密着するように上から押さえます(図3)。



5. カセットロック(バネ式の鍵)の溝にコインを挿し込み、押しながら反時計回りに90度回して締めます(図4)。



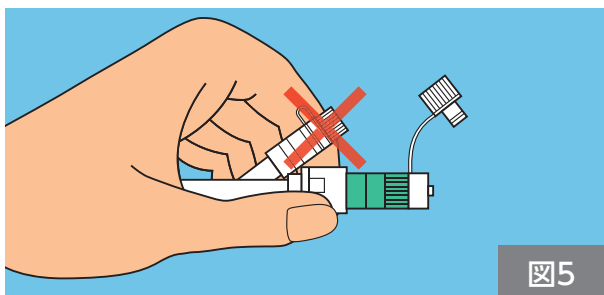
朝の手順

(続き)

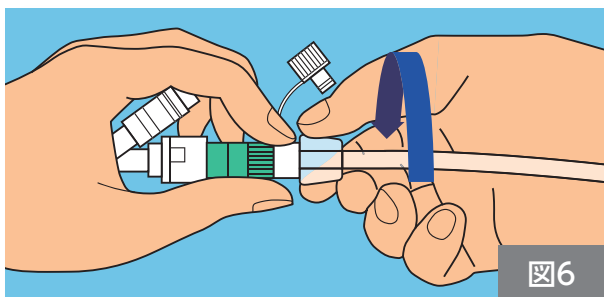
6. カセットチューブの赤いキャップを外し、チューブクランプを開きます。



7. 空腸側の接続口先端の白いキャップを回して外し、カセットチューブを接続します(図5)。





注意 カセットチューブを接続する際は、必ずカセットチューブ側を回してください(図6)。




朝の手順 (続き)

- カセットチューブは回して接続するためチューブ上にねじれが発生します。そのねじれを直します。



-  ボタンを3秒間長押しし電源を入れます。
-  ボタンを3秒間長押しし[ドウサチュウ]画面になったことを確認します。

朝の投与

-  ボタンを2回押します。朝の投与が終了すると、自動的に持続投与に戻ります。
- ポンプを携帯用バックに入れます。

ポンプの正しい携帯向き

注意 ポンプを携帯用バックに入れる際は、入れる向きに注意してください。誤った方向に入れるとお薬が流れなくなります。

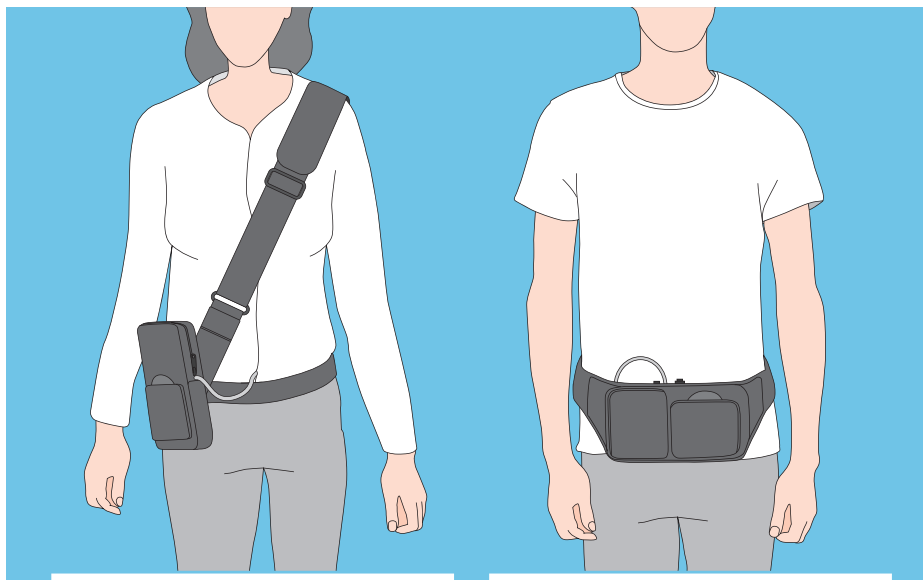
○正しい向き



×間違った向き



携帯用バックの身に着け方




ポンプ携帯用肩掛けバック
(クロスボディバック)

ポンプ携帯用ウエストバック

ジャケットやカーディガンを羽織るとポンプは隠れ、チューブがドアノブ等に引っ掛かるのを防止することができます。



日中にオフになった場合の手順

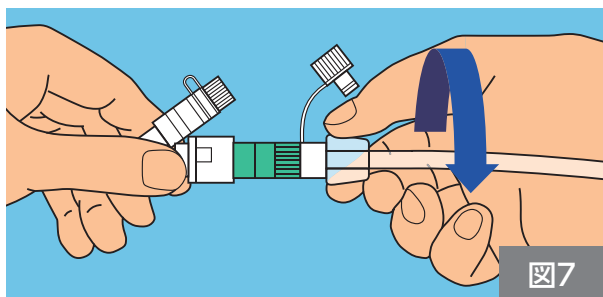
追加投与

1.  ボタンを(1回)押します。
2. ピピと音が鳴り、画面に[ドーズ]が表示され、追加投与が開始されます。
追加投与が終了すると自動的に持続投与に戻ります。

夜の手順

投与を停止し電源を切ります

1.  ボタンを3秒間長押しして投与を停止します。
[ストップ]画面になったことを確認します。
2.  ボタンを3秒間長押ししてポンプの電源を切ります。
3. 胃ろうチューブとの接続部からカセットチューブを取り外します
(図7)。



必ずカセットチューブ側を回してください。

4. ポンプからカセットを取り外します。

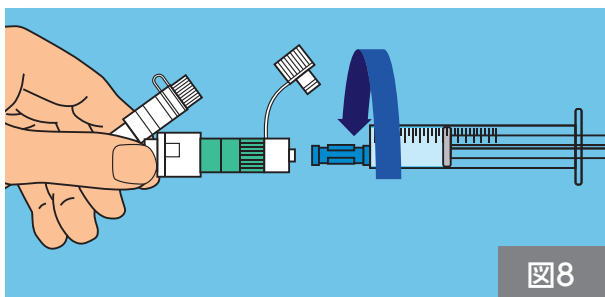
夜の手順(続き)

空腸チューブ内の洗浄

1. 注射器と専用アダプタ、水50~100mLを準備します。

注意 お湯で洗浄しないでください。
胃壁や腸壁にやけどを負います。

2. 注射器に水20mLを入れます。
3. 注射器にアダプタを接続したら、次に空腸側の接続口に接続します(図8)。



4. 水50mL以上を注入して空腸チューブ内を洗い流します(20mL注入を3回以上)。

注意 洗い流す際に、前回と比べて明らかに軽い力で水の注入ができた場合は、空腸チューブが外れている可能性があります。この場合は、胃ろうチューブの中に空腸チューブが通っているか確認をしてください。もしも胃ろうチューブの中に空腸チューブが確認できない場合は、本剤の使用を中止し、速やかに医療機関に相談してください。

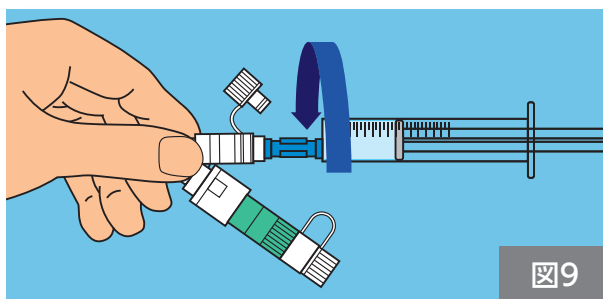
5. 白いキャップを取り付けます。

次のページへ

夜の手順(続き)

胃ろうチューブ内の洗浄

6. 注射器に水20mLを入れます。
7. 注射器とアダプタを胃側の接続口に接続します(図9)。



8. 水40mLを注入して胃ろうチューブ内を洗い流します(20mL注入を2回)。
9. 白いキャップを取り付けます。

注意 経腸栄養剤を投与している場合は、チューブの詰まりを防ぐため、経腸栄養剤投与の後に必ず胃用ポートからフラッシングをしてください。

ポンプの保管方法

1日の投与が終了したら、

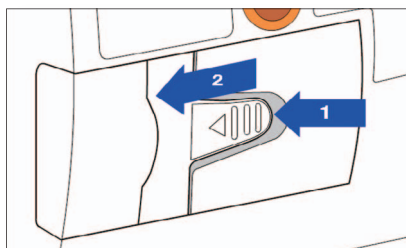
- ☑ ポンプの底に保護カバーを取り付けます。



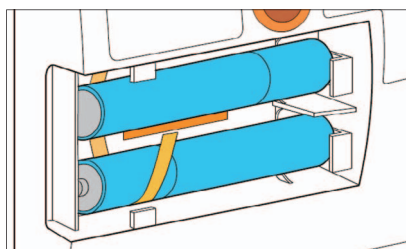
- ☑ ポンプを安全な場所に保管してください。

電池の交換

1. ポンプの電源を切ります。
2. 電池カバーを矢印(1)のように押し、矢印(2)の方向にスライドさせてポンプから外します。

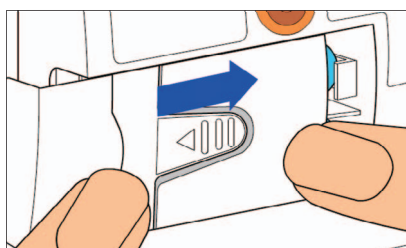


3. 使用済みの電池を取り出します。
4. 新しい電池を挿入すると、ビープ音が鳴り電源が入ります。



- 電池は、電池ボックスの底に表示されている電極方向に合わせて入れてください。

5. 電池カバーをはめます。



- 電池ストラップ(黄色いリボン)は電池ボックスの中に入れてください。

注意

ポンプの側面にある接続部及び溝は使用しません。溝内にチューブを入れしないでください。



胃ろうのケア

胃ろうを造る前に、胃の手術を受けていたり胃に問題がある場合は、医師や看護師に伝えてください。胃ろうのケアについて、医師や看護師と話してください。術後には、胃ろうの感染の徴候の有無について、患者さんご自身、医師及び看護師が定期的に確認する必要があります。

胃ろうチューブの動きを確認します (バンパー埋没症候群^{※1}の予防)

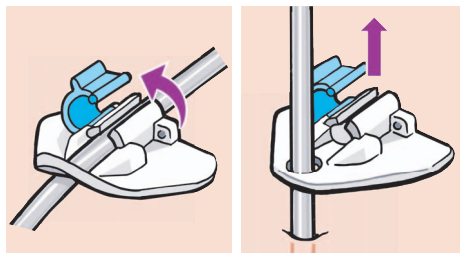
※1 バンパー埋没症候群とは、胃内固定板が胃の組織にうもれてしまう状態です。

胃ろうの傷口が治りましたら、毎日次の処置を行います。毎日ガーゼ等を交換する必要はありません。

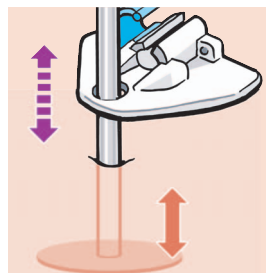
1. まず、両手を石鹸でしっかり洗い、水で流します。
2. ガーゼを使用している場合は外します。
3. 外部固定板上の青いクリップ^{※2}

を開きます。チューブを外部固定板から外し、チューブが自由に動くようにします。

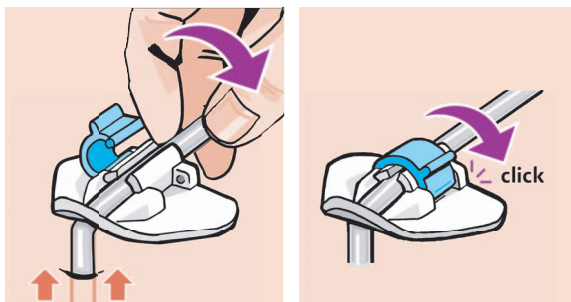
※2 20Frの胃ろうチューブの場合は紫色のクリップです。



4. チューブを3～4cm胃の方に慎重に押し入れ、胃内固定板の抵抗を感じるまでそっと引き戻します。チューブを回さないでください。



5. チューブが自由に動くように皮膚から0.5~1.0cm離して外部固定板を取り付けます。



6. 必要に応じてYカットガーゼを当ててください。
ジスキネジア等で体が激しく動く場合には、テープでの固定をおすすめします。
7. 合併症の徴候がある場合は、医師にお知らせください。

注意

- ✓ 胃ろうの感染の徴候の有無について、患者さんご自身が定期的に確認する必要があります。
- ✓ 胃ろうの周りや皮膚に接するチューブや外部固定板は、1日1回ぬるま湯と石鹸で洗い、常に清潔で乾燥した状態に保つようしてください。
- ✓ 入浴は、医師の許可を受けてから開始してください。

胃ろう周囲の炎症

炎症の徴候

- 赤くただれている。
- さらっとした水っぽい分泌物がある。
- 押すと痛む。

炎症の予防

- ポンプを携帯する際、チューブができるだけ引っ張られないように注意してください。
- チューブが引っ張られると胃ろう孔から胃液が漏れやすくなり、皮膚がただれやすくなります。

対処方法

- 患部を清潔に保ってください。
- 1日3～4回、普通の石けんとぬるま湯で洗浄し、やさしく水気を拭き取り、乾燥させます。
- 浸出液が多い場合は、チューブのまわりにガーゼを当て、テープで固定します。
- 3日以内に症状が改善しない場合は、担当医師に相談してください。

胃ろう周囲の感染

感染の徴候

- 皮膚が真っ赤で、熱を持ち、腫れている。
- 粘りのある白～黄緑色に濁った分泌物がある。
- 胃ろうのまわりの皮膚が常に痛む。
- 発熱
- 胃ろうの周囲から悪臭がする。

対処方法

- ただちに担当医師に連絡してください。

- 胃ろう周囲の皮膚を毎日観察し、異常があれば早期に相談しましょう。
- 胃ろう周囲の皮膚は常に清潔で乾燥した状態を保ちましょう。
- 皮膚だけでなく、胃ろうチューブや外部固定板もきれいに保ちましょう。なお、チューブが損傷するおそれがあるため、アルコール、ポビドンヨードを含む製品を使わないでください。
- 医師の指示通りに処置しましょう。特に軟膏類は**自己判断で使用しない**よう注意してください。

薬液カセットの保管方法

- 冷蔵庫(2°C~8°C)で保管してください。誤って室温で保管した場合には投与しないでください。
- お薬は光に敏感ですので、カセットは必ず箱に入れたまま冷蔵庫に保管してください。
- カセットは1日使い切りです。16時間を超えて投与しないでください。カセット内にお薬が残っていても、翌日使用しないでください。

注意 16時間使用後もカセット内に薬液が少し残ります。

- 使用する前に期限を確認し、期限切れのカセットは使用しないでください。
- 高温では有効成分の分解が進み、有害物質が増えるおそれがありますので、誤って室温で長く保管してしまった場合は使用しないでください。
- カセットを冷蔵庫及び箱に入れた上で保管した場合であっても、長時間保管すると、お薬が少し黄色っぽくなることがあります。変色してもお薬の作用は変わりませんのでご安心ください。
- 使用済みのカセットは袋等に入れて区別します。市町村の規則に従って廃棄してください。再び冷蔵庫の箱の中に戻さないでください。

- 旅行等に行かれる場合は、移動中はカセットをクーラーボックス等で適切な温度で保冷し、目的地に着いたら直ちにカセットを冷蔵庫に入れてください。

ポンプは防水ではありません

入浴・シャワー等 水との接触には ご注意ください

- 液体や水分でポンプが損傷する可能性があります。シャワーや入浴の前には必ずポンプを外してください。
- サウナ等の高温多湿の場所では使用しないでください。

電池

- アルカリ乾電池単3形2個を使用します。他の電池は使用しないでください。
- 通常1週間使用することが可能ですが、温度や投与量によっては早く消耗する可能性があります。
- 電池切れに備えて、常に新しい予備のアルカリ乾電池単3形を携帯されることを推奨します。

検査や治療を受ける際の注意事項

下記の検査を他の病院で行う場合は、事前に担当医師に相談してください。

検査/治療	ポンプの注意事項
MRI検査	MRI室に入室する前に投与を中断し、ポンプを取り外してから入室します。
放射線治療	放射線治療の際は、投与を中断し、ポンプを取り外します。 ポンプを近くに置く場合は、遮蔽する必要があります。治療終了後にはポンプが正常に作動しているかどうかを必ず確認してください。
高圧酸素療法室	投与を中断し、ポンプを取り外してから入室します。

旅行

- 旅行をする場合は、事前に担当医師に相談し、計画を立ててください。
- 旅行をする場合は、胃ろうの傷口が完全に治癒したことを確認した後に行ってください。疑わしい場合は、医師にご相談ください。
- 事前に十分に旅行の計画を練りましょう。
 - ・移動時間とその間の保冷方法は大丈夫でしょうか(クーラーボックス)。
 - ・宿泊先では冷蔵庫は使用できますか。
 - ・飛行機を利用される場合は、事前に航空会社に確認してください(航空会社への提出事項等の確認)。

※ご質問がある場合は、末尾に記載されている連絡先にお気軽にお問い合わせください。


旅行時の必要物品

- デュオドーパ[®]の処方箋(コピー) ※飛行機を利用する場合
- 十分な量のデュオドーパ[®]薬液入りカセット
- デュオドーパ[®]患者手帳
- 患者さん用ポンプ取扱説明書(Legacy1400患者用ガイド)
- 救済薬(レボドパ・カルビドパ水和物の経口剤等)
- フラッシング用アダプタ
- フラッシング用20mL注射器
- 予備のアルカリ乾電池単3形
- ガーゼ等
- デュオドーパ[®]患者さん用ポケットガイド(本資料)

等

ポンプアラーム


アラームが鳴ったら

- ボタンを押す前に、画面に表示されているメッセージを確認してください。
- あせらないで落ち着いて対応しましょう。
-  ボタンを押して音を消します。
アラーム音は一時的に止まりますが、問題が解決された訳ではありません。
- 画面に表示されているアラームの種類に応じた対応を行ってください。
- 問題が解決されない場合は、病院に連絡してください。
- 何かわからないことがありましたら末尾に記載されている連絡先にお問い合わせください。
- アラーム発生時の状況を詳しく伝えてください。
 - ・ アラームはいつ発生しましたか
 - ・ 画面には何と表示されておりましたか
 - ・ 何をしている時にアラームは鳴りましたか
 - ・ どのような対応をいたしましたか
- よく認められるポンプアラームとエラーメッセージについては、次のページ以降で確認できます。

Error

音	ビーポービーポー(鳴り続く)
原因	ポンプに問題が発生しました。
対応	<ol style="list-style-type: none">1. 電池を取り外して、電源を切ります。2. 病院に連絡してポンプを交換してください。

コウアツアラーム ヘイソクアリ

音	ビーブービーブー(鳴り続く)
原因	チューブのどこかでお薬が停滞し流れていません。 例. チューブのねじれや屈曲 赤いキャップが付いている
対応	<ol style="list-style-type: none">1. [停止/作動] ボタンを押してアラーム音を消します。2. チューブクランプが閉じていないか、チューブのねじれ、屈曲、閉塞がないか確認します。<ul style="list-style-type: none">・特にカセットチューブの付け根(接合部分)がねじれやずいいため注意します。  <ul style="list-style-type: none">・この段階で閉塞状態が解除された場合は、自動的に[ストップ]画面に戻ります。・[停止/作動] ボタンを長押しして、投与を再開します。・朝の投与途中で鳴った場合は、[朝の投与]を再開します。

[コウアツアラーム ハイソクアリ]続き

対応

1. 2. の手順で対処したが、[コウアツアラーム ハイソクアリ]の画面が表示されたままで、全てのボタンが反応しない場合は、
3. 電池を外して電源を切ります。
4. 現在使用しているカセットを一旦取り外し、付け直します。
5. チューブクランプが閉じていないか、チューブにねじれ、屈曲、閉塞がないか確認します。
6. 電池を入れます(自動的に電源が入ります)。
7. [停止/作動]のボタンを長押しして、投与を再開します。
8. 朝の投与途中で鳴った場合は、[朝の投与]を再開します。
9. 再度アラームが鳴る場合は、病院に連絡してください。

※投与中にコウアツアラームが発生した場合でも、チューブのねじれや屈曲が自然に解消されるとアラームは止まり[ドウサチュウ]に戻り、投与が継続されます。

(表示なし)

音	ビーブービーブー(鳴り続く)
原因	ポンプを停止してから15秒以内に電池が取り外されました。
対応	電池を入れてください。 電池を入れるとアラームが止まります。

ドウサチュウ リザーバ Low

音	ピピピ
原因	カセット内のお薬の残量がわずかになりました。
対応	必要に応じて新しいカセットに交換してください。

カセットナシ ドウサフノウ

音	ビーブービーブー(鳴り続く)
原因	カセットが正しく取り付けられていない状態で投与が開始されました。
対応	<ol style="list-style-type: none">1. [停止/作動] ボタンを押してアラーム音を消します。2. カセットを正しく取り付け直します。3. [停止/作動] ボタンを長押しして、投与を再開します。

リザーバヨウリョウ ヤクエキナシ

音	ビーブービーブー(鳴り続く)
原因	カセット内のお薬がなくなりました。
対応	<ol style="list-style-type: none">1. [停止/作動] ボタンを押してアラーム音を消します。2. 必要に応じて、新しいカセットに交換します。3. リザーバヨウリョウの設定画面を表示し、[入力/リセット] ボタンを押して残量をリセットします。4. [停止/作動] ボタンを長押しして、投与を再開します。

デンチギレ

音	ビーブビーブビーブ 5分ごとに3回繰り返し鳴る
原因	電池の残量が少なくなっています(まだポンプは動いています)。 ※電池の交換は、24ページを確認してください。
対応	1. [停止/作動] ボタンを押してアラーム音を消します。 2. 新しい電池に交換してください。 3. [停止/作動] ボタンを長押しして、投与を再開します。

このまま放置しますと、完全に電池がなくなり

デンチフリオウ

のアラームが発生しポンプが完全に停止します。

アップストリームヘイソク

音	ビーブービーブー(鳴り続く)
原因	<p>カセット内での閉塞が感知されました。</p> <p>例</p> <p>カセットが正しい向きでない。</p> <p>カセットが冷蔵庫で冷え過ぎた場合、薬液の粘度が増して液が送られなくなりアラームが鳴ることがあります。</p>
対応	<ol style="list-style-type: none">1. [停止/作動] ボタンを押してアラーム音を消し、電池を外します。2. 現在使用しているカセットを一旦取り外し、付け直します。<ul style="list-style-type: none">・カセットが正しい向きになっているかを確認します。・冷蔵庫から取り出して20分経過していない場合は、20分経過するまで待ちます。3. 電池を入れます(自動的に電源が入ります)。4. [停止/作動] ボタンを長押しして、投与を再開します。5. 再度アラームが鳴る場合は、病院に連絡してください。

セッテイガ セーブ サレテ イマセン

音	アラーム音なし
原因	[入力/リセット]ボタンを押さなかったため、設定した値が保存されていません。
対応	設定を変更してポンプを再開したり、次の操作画面に移る前には、[入力/リセット]ボタンを押して保存する必要があります。

投与中に関する注意事項

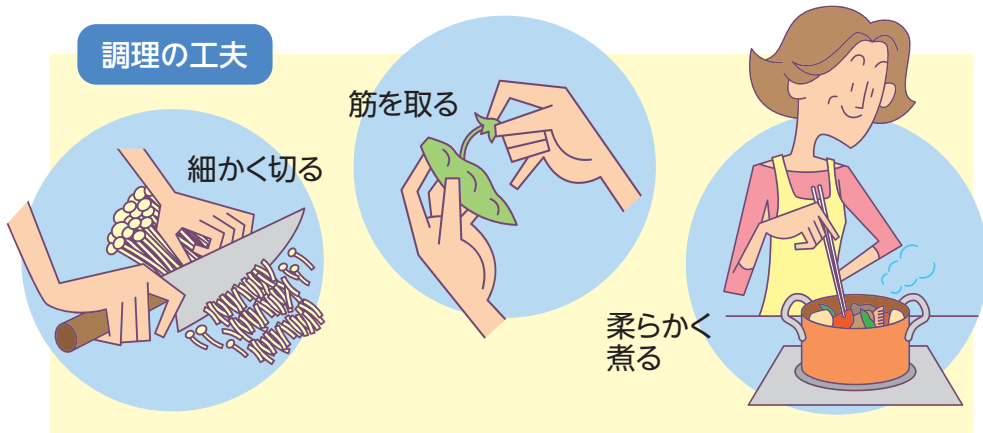
- この薬を使用すると、ニューロパチー(感覚のまひや手足のしびれなど)があらわれることがあります。この薬の使用中にこのような症状があらわれた場合には速やかに医師に相談してください。
- この薬の急激な減量または中止により悪性症候群があらわれることがあります。この薬を減量または中止する場合には、少しずつ使用量を減らしていきます。
- 胃から腸にチューブを入れますので、次のようなことが起こることがあります。
 - ・胃石(チューブの先端に食べたものがからまる)
 - ・イレウス・腸閉塞(腸が詰まった状態)
 - ・胃瘻部位びらん・潰瘍
 - ・術後創傷感染・腸出血
 - ・腸管虚血
 - ・腸管穿孔(腸に穴があいた状態)
 - ・腸重積(腸管に腸管が入り込み、腸が詰まった状態)
 - ・膵炎
 - ・腹膜炎・気腹(腹腔内に空気がたまった状態)
 - ・膿瘍
 - ・敗血症
 - ・肺炎(誤嚥性肺炎を含む)

このため、腹痛、吐き気、嘔吐(おうと)等の症状があらわれた場合には、ただちに使用を中止して医師に相談してください。

胃ろうチューブの中に通っている空腸チューブが胃内へ抜け落ちてしまった場合にもこのようなことが起こる可能性があります。薬の効き目が悪くなったり、腹痛、吐き気、嘔吐(おうと)等を認めたり、空腸チューブを洗い流す際に前回と比べて明らかに軽い力で水の注入が出来た場合(夜の手順のP21参照)には、胃ろうチューブの中に空腸チューブが通っているか確認をしてください。もしも胃ろうチューブの中に空腸チューブが確認できない場合は、本剤の使用を中止し、速やかに医療機関に相談してください。

- 食物繊維の豊富な食物(きのこ類、アスパラガスなど)を食べた場合、その繊維が留置したチューブの先からまり、チューブの先が塞がれたり、腸の閉塞をひきおこす場合があります。このような食物繊維の豊富な食物を食べるときは、細かく切る、十分に煮て柔らかくするなど調理を工夫したり、よく噛んだ後に飲み込んでください。また、ゆっくりと適量を取るようにし、早食いや食べすぎは避けましょう。

調理の工夫



食事をするとき



もしも、腹痛、吐き気があったり、チューブが引っ張られるような感覚がありましたら、ただちに使用を中止して医師に相談してください。

- 閉塞隅角緑内障(目の前に霧がかかったような感じ、眼のかすみ、頭痛、眼の痛み、視力の低下)のおそれがある人は、眼科検査が行われることがあります。
- 突発的睡眠(前兆もなく突然眠る)や傾眠(眠気でぼんやりする)、眼の調節障害、注意力・集中力・反射機能などの低下がおこることがありますので、この薬を使用中は自動車の運転など危険を伴う機械の操作はしないでください。
- 社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返す、性欲や食欲が病的に亢進するなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。また、この薬を治療に必要な量を超えて欲しくなる症状があらわれることがあります。患者さんや家族などの方は、医師からこれらについて理解できるまで説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。

- 妊娠または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- 授乳中の人は、医師に相談してください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- 副作用に関する情報

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
あくせいしょうこうぐん 悪性症候群	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
げんかく 幻覚	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる
さくらん 錯乱	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
よく 抑うつ	やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠
ようけつせいひんけつ 溶血性貧血	からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、めまい、頭が重い、白目が黄色くなる、動く時の動悸(どうき)や息切れ、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる

重大な副作用	主な自覚症状
けっしょうばんげんしょうしょう 血小板減少症	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
とつぱうてきすいみん 突発的睡眠	前兆もなく突然眠る
あくせいこくしやくしゅ 悪性黒色腫	ほくろがかゆい、ほくろから血が出る、ほくろが大きくなる、ほくろが痛い、ほくろが潰瘍になる、赤茶色のかさぶた
へいそくぐうかくりやくないしょう 閉塞隅角緑内障	眼のかすみ、眼の前に霧がかかったような感じ、頭痛、眼の痛み、充血、視力の低下、吐き気

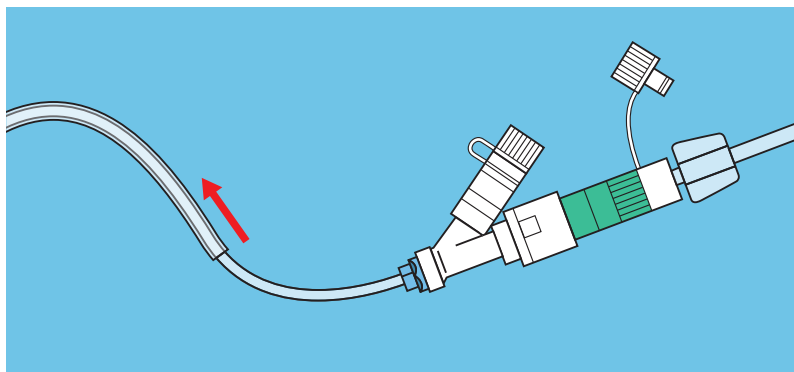
以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部 位	自覚症状
全 身	38℃以上の発熱、ふるえ、からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ
頭 部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、意識が乱れる、意識の混乱、めまい、頭が重い、頭痛
顔 面	鼻血

部 位	自覚症状
眼	白目が黄色くなる、眼のかすみ、眼の前に霧がかかったような感じ、眼の痛み、充血、視力の低下
口や喉	飲み込みにくい、吐き気、歯ぐきの出血
胸 部	吐き気、動く時の動悸(どうき)や息切れ
腹 部	吐き気
皮 膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血、ほくろがかゆい、ほくろから血が出る、ほくろが大きくなる、ほくろが痛い、ほくろが潰瘍になる、赤茶色のかさぶた
筋 肉	筋肉のこわばり
尿	尿が褐色になる
その他	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠、出血が止まりにくい、前兆もなく突然眠る

- Yコネクターから胃ろうチューブが外れてしまった場合は、速やかに医師に連絡して指示に従ってください。



何かご不明な点等がございましたら
いつでもお気軽に
お問合せご相談ください

デュオドーパ®による治療を受けられる患者さんのための問い合わせ窓口

デュオドーパ®コールセンター

フリーダイヤル **0120-063-789**

受付時間：24時間365日〈通話料無料〉

緊急連絡先

医療機関名	
担当医師名	
電話番号	
FAX番号	

製造販売元

アッヴィ合同会社

デュオドーパ®患者さん用ポケットガイド
2022年4月作成 第5版

Copyright© 2022年アッヴィ合同会社
無断複写・複製・転載を禁ず。

JP-DUOD-190108-3.0

医薬品リスク管理計画
(RMP)

本資料は医薬品リスク管理計画に基づき作成された資料です

abbvie